

指導者用資料 前期（1～4年生）用

（1）指導のねらい

- ①自転車を利用する上での交通ルールを知り、安全運転の意識を芽生えさせる。
- ②自転車交通事故の被害者の声をもとに、命の大切さを知らせる。

（2）指導案

①導入

- ・大阪府箕面市で実際に起こった自転車事故をもとに作成した教材であることを紹介。

②展開

- ・学習のめあてを提示。
自転車を安全に利用するにはどうすれば良いかを考える。
- ・映像を鑑賞する。
主人公がポストに手紙を投函し、車にはねられたシーンで映像を止める。
発問「主人公の自転車の運転のしかたは、どこがいけなかったのか」
（意見を発表）
発問「主人公はどんな気持ちで自転車を利用していたのか」
（意見を交流）
- ・映像の続きを鑑賞する。
時間切れとなり、リッチーが説諭し、扉が閉まったシーンで映像を止める。
リッチーの説諭から、命は一つであること、命の大切さを知る。
- ・映像の続きを最後まで鑑賞する。
被害者の母親の手記を聞き、子どもを亡くした親の思いを知る。

③まとめ

- ・交通ルールを守ること。
- ・命はかけがえのないものであることを伝える。